



令和4年10月14日発行

# 立山町教育センターだより 号外17

立山町教育センター 〒930-0221 立山町前沢 3318 TEL: 463-4407 FAX: 463-6622 URL: <http://www.tateyama-c.tym.ed.jp>

高岡市伏木に建つ勝興寺の本堂と庫裏の一部が国宝に指定されたという富山県人にとって、とてもうれしいニュースがもたらされました。これで、高岡市には、瑞龍寺と勝興寺の2か所の国宝があるということになりました。これから、我々県民が勝興寺の価値を再確認し、大切に守り続けていかねばならないと感じます。平成の大修理を終えた勝興寺をご覧になったことのない方は、是非一度、足を運ばれてはいかがでしょうか。

## 朝ドラ「舞いあがれ！」から学ぶ子育て②

自分から祖母の手伝いをすると決めた舞。目覚まし時計をセットし自分で目覚める。ピワの収穫、祖母が作ったジャムの瓶詰を手伝う。収穫したピワを落としてしまったことやジャムを瓶から溢したことの失敗で落ち込む舞に祖母は語る。「最後にはしっかりできたじゃないか。失敗は悪いことではない。それより、舞は自分で手伝いをすると決めて最後までできたことがすごいことだよ」。その言葉に励まされ、舞は、祖母や母のように何でもできるような人になりたいと決意する。そして、自分から様々な手伝いに挑戦し、少しずつではあるがたくましさを身に付け成長していく。

そして、五島に伝わる『ばらもん凧』を自分からあげてみたいと言い出すようになる。周りの方々の助けを得ながらも、自分で『ばらもん凧』をあげることができ、達成感を味わう。その姿を見て祖母は「『ばらもん凧』のように、どんな向かい風にも負けないで、たくましく生きていくんだよ」と言って父母の待つ大阪に戻るように話す。母に迎えに来てもらい、大阪へ帰ることになった舞は母に「帰りは飛行機に乗りたい」と自分の願いを伝え、実現する。

失敗しても取り戻せばよい。一生懸命に頑張っていれば、必ず周りが助けてくれる。失敗によって学び、成長するのである。何よりも「自分の意志」をしっかりとをもって、前向きに行動することこそが人を成長させるもとである。人生経験豊富な祖母は、舞にそう伝えているのであろう。

我々大人は、子供の願いや気持ちをまず第一に考え、意欲を高めるように支え、温かい寄り添い方を工夫することが大切なのだということを改めて感じることができた。朝ドラはいろいろなことを考えさせてくれる。

